

学校運営協議会だより

令和7年12月25日

国立市立国立第一中学校

第4号

司会：(会長) 記録：(副校長)

《協議内容》

- ・令和7年度「学校評価報告書」について
- ・ふれあい月間アンケート結果
- ・研究奨励校の取組について
- ・地域学校協働活動推進員より

参加者 学校運営協議会委員 8名
教員 7名

《協議結果》

- 不審者対応訓練を、他市での不審者の侵入事件を受けて予定を変更して6月に実施したのはとても良かった。対応策としても複数の不審者への対応の準備ができていたので良かった。
- 今年度はすでに実施した交通安全教室だが、来年度からの道路交通法の改正に伴う自転車のルール改正が大きなものと感じているので、可能であれば4月までにルール・マナーの徹底や、中学生が人身事故の被害者にも加害者にもなりうることをしっかりと学ばせてもらいたい。
- 合唱コンクールを参観したが、中学生の一生懸命歌う姿に感動させられた。ぜひ多くの皆さんに参観していただきたい。また、歌だけではなく美術部の横断幕の作品の紹介があったことも良かった。
- 花植えボランティアの取組は一中花壇だけでなく、国立駅前や国立高校との間のチューリップロードも定着してきており、今後も土をいじったり草花を育てる取組を通じて心を耕していったほしい。
- SNSー中ルールについて、冬休みのしおりに通じて周知していただき、トラブル予防に努めているが、「すぐー」でも周知を重ねるなどすると、さらに効果が出るのではないか。
- ふれあい月間の集計を受けての対応は速やかに行われていて良いが、今後はアンケートの回答を通じて心の指導へとつなげたり、経年変化等を見て対策に役立てるなどの工夫をしていくと良いのではないか。
- インフルエンザ等による学級の閉鎖等の判断について、学校医や市教委とも相談し、単に人数だけの話ではないことは理解できたが、わからないで不安に思っていた保護者も多いと思うので、すぐー等を活用して情報を発信するなどしていくと安心できるのではないか。
- 支援が必要な生徒の受け入れは、公立中学校としては必ずしなければいけないのか、支援できる限界とは何か規定のようなものはあるのか、その生徒本人が本当に望んでいる環境であるのか、周りの生徒の思いは反映されているのか、理念に保護者の理解は追いついているのか等、様々な疑問や課題が見えてきている。
- 研究奨励校としての取組は、校内の「研推だより」を見て各分科会でそれぞれ成果が上がっていることをうれしく思う。研究部から来年度への提言も出ているので、教科の枠を超えた全体での取組に期待をしたい。

地域学校協働活動推進員より

- コミュニティ部での活動は、4コースを開設しそれぞれ充実した活動ができている。パソコンコースの講師として支援を要する生徒も一緒に活動している中で、「一緒に活動をさせたい」という思いと「人手が足りない」という両面の大変さを実感している。それを毎日行っている先生たちは本当に頭が下がる思いである。
- 放課後自習カフェについて、地域の協力もしてくれるようになった。毎月2日間開催して100人以上の利用がある。飲みながらの会話を楽しむ生徒、黙々と勉強する生徒、グループで教え合いながら勉強するなど使い方は様々で、それで良いと思っている。部活動の参加に迷惑をかけないように声かけをしていく。

第4回学校運営協議会は、主な協議内容について全て承認しました。

第5回の学校運営協議会は、令和8年1月20日(火)に書面開催とします。